

生きている白山に学ぶ水と緑と防災

白山砂防通信



SABOは
世界の共通語

2009 夏号
VOL.16



日本各地を襲う豪雨災害

災害発生直後の浅野川の支流・板ヶ谷川(金沢市板ヶ谷町) 写真提供:石川県



浅野川上流域での災害発生箇所

平成20年は局地的大雨、いわゆる「ゲリラ豪雨」による河川のはん濫や土砂災害が日本各地で頻発しました。石川県では7月に金沢市中心部を流れる浅野川が1953年(昭和28年)以来、55年ぶりにはん濫しました。

7月28日の未明から早朝にかけて、金沢市の医王山周辺は1時間に138mm、3時間で251mmに達する、観測史上最大の局地的豪雨に襲われました。この雨は、上空の寒気に下層側の暖かく湿った空気が流れ込んで大気の状態が不安定となったことにより発生したもので、中国、近畿、東北地方でも大雨となっていました。

この大雨により浅野川上流域の金沢市・芝原町や折谷町、板ヶ谷町などではがけ崩れや土石流などの土砂災害が多数発生、砂防施設や堤防などの公共土木施設が損壊したほか、一部の住宅が全壊または半壊、100棟におよぶ家屋が浸水するなどの被害が出ました。

上流域で発生した土砂災害による土砂と多量の雨水が流れ込んだ浅野川は短時間で急激に水位が上昇し、午前8時20分頃には中流域の市街地で水があふれ出し、1,800棟以上の家屋が床上・床下浸水、果樹園や農地も冠水するなど甚大な被害が発生しました。

浅野川上流域に発生した土砂災害では、地域住民が早めに自主避難をしていたため、幸いにして人的被害がありませんでした。

石川県内には、2,627箇所(保全人家5戸以上、H19年3月現在)もの土砂災害危険箇所があります。自分の住んでいる災害危険箇所の把握、避難場所の確認、大雨や自然災害情報への注意を払うなど、日頃から土砂災害に備えることが重要です。

平成20年に発生した豪雨による災害

7月 8日	東京都大田区 呑川 (工事作業員1名死亡)
7月18日	神奈川県川崎市 多摩川 (釣り人が中州に取り残される)
7月27日	群馬県みなかみ町 湯檜曾川支流、および宝川 (増水で流され死者1名、行方不明1名)
7月28日	石川県金沢市 浅野川 (土砂災害、氾濫)
7月28日	兵庫県神戸市 都賀川 (急な増水により小学生を含む5名が死亡)
8月 5日	東京都豊島区 (下水道の増水で作業員5名死亡)
8月16日	栃木県鹿沼市 (道路冠水により1名死亡)
8月26日 ~30日	愛知県岡崎市 (大雨により市全域に避難勧告)

土砂災害から身を守るために

～日頃の備えと早めの避難～



ハカセ

日頃から備えておこう

土砂災害が起きそうな場所には下の写真のような看板が立てられています。自分の家の近くにあるか調べておきましょう。石川県の土砂災害危険箇所図は、石川県土砂災害情報システム『SABOアイ』（右記参照）で確認できます。また、日頃から防災用品を用意するほか、避難する場所や避難ルートを家族で確認しておきましょう。



土石流危険溪流



地すべり防止区域



急傾斜地崩壊危険区域



非常持出袋の用意



地域の防災訓練に参加



土砂災害危険箇所図の確認

土砂災害の前兆に注意しよう

土砂災害には前兆現象があります。下の図のような現象を見たり聞いたりしたときは早めに避難してください。前兆現象をわざわざ見に行くことはとても危険です。絶対に近づかないでください。

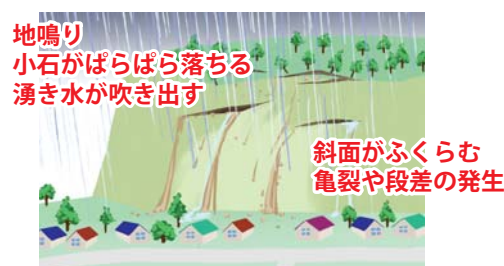
※紹介した現象が土砂災害発生の前兆ではなく、現象が見られなくても土砂災害が発生する場合があります。



土石流



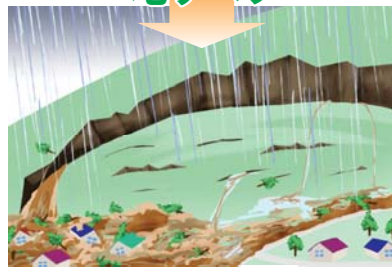
地すべり



がけ崩れ



大雨によって川の中の大きな石や山の斜面からくずれた土や石などが、水といっしょになって、一気に流れ出てくる現象



粘土のようなすべりやすい地層に雨水や雪どけ水などがしみこみ、ゆるくて広い範囲の地面がすべり出す現象



地中にたくさんの雨水がしみこんだ時や地震で斜面にひびが入った時など、急な斜面が突然崩れ落ちる現象

災害情報に注意して早めに避難しよう

防災無線や市町村による広報車の呼びかけに注意し、危険と感じたら、すばやく避難しましょう。お年寄りや足の不自由な方は、移動に時間がかかります。早めに避難を！
なお、災害・気象情報は下記のホームページから入手できます。



カズくん

国土交通省 金沢河川国道事務所

<http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/> (WEB版)
<http://c10w1bke.secsites.net/k/> (携帯版)



『防災情報いしかわ』

<http://www.kanazawa-mlit.com/bousai-info-ishikawa/>
手取川や梯川のライブ映像や県内の主な河川の水位などを確認できます。

石川県

<http://www.pref.ishikawa.jp/> (WEB版)
<http://www4.pref.ishikawa.jp/> (携帯版)



『土砂災害情報システム SABOアイ』

<http://sabo.pref.ishikawa.jp/>
石川県の土砂災害危険箇所図などが見られます。

金沢地方気象台

<http://www.tokyo-jma.go.jp/home/kanazawa/>
石川県の気象情報が見られます。

土砂災害警戒情報

土砂災害警戒情報は、大雨による土砂災害発生の危険度が高まったとき、市町村長が避難勧告等を発令する際の判断や住民の自主避難の参考となるよう、都道府県と気象庁が共同で発表する防災情報です。

市町村やテレビ、ラジオ等を通じて発表されるほか、インターネットでも情報提供されます。

白山砂防科学館

白山市白峰地区にある『白山砂防科学館』は、手取川上流域の地すべりや気象情報などのリアルタイム情報のほか、土石流監視カメラのライブ映像を提供する防災情報の収集発信施設です。

防災情報のほかにも、白山の自然や文化、過去の土砂災害、砂防事業の歴史などの展示を行っています。



白山・手取川と生きる

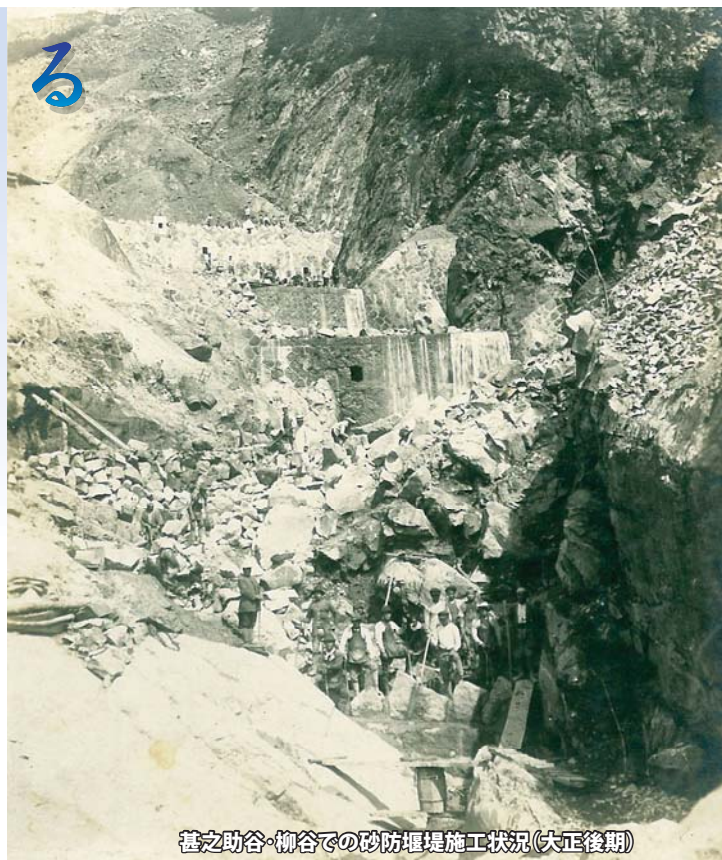
…… 白山砂防 (3) …… この欄では、「白山」「手取川」「白山砂防」について、順次紹介していきます。

◆ 県営砂防の時代(人力による砂防堰堤の施工)

明治時代の度重なる手取川の洪水の原因が水源地の崩壊にあると見た石川県知事・李家隆介は1910(明治43)年に白山・柳谷を視察しました。山林の濫伐(らんぱつ)と濃尾地震などにより崩壊の進んだ柳谷を見た知事は、これをくい止めることが手取川の治水に必須と判断、1912(大正元)年より白山の柳谷と甚之助谷で石川県による砂防工事が始まりました。

重機もなく、自動車も貴重だった当時、砂防施設はすべて人力によって施工されていました。何人もの石工が山に入り、何日も寝泊まりしながら現場で石を切り出しました。切り出された石やセメントなど資材はすべて人の背やもっこで運ばれ、山腹工・護岸工・水路工・砂防堰堤などが次々と作られて行きました。

セメント樽運搬 市ノ瀬～柳谷間(大正14年10月)



甚之助谷・柳谷での砂防堰堤施工状況(大正後期)

こうして標高2,300m地点にまで砂防施設が作られましたが、これらは施工期間も短く、また工事にかけられる費用が少なかったこともあり、谷の大規模な崩壊をくい止めるまでに至りませんでした。1919(大正8)年7月、集中豪雨による出水でほぼすべての施設が根底から破壊されてしまったのです。

県営砂防の時代(砂防法の改正と国の直轄事業へ)へ続きます



特派員マスコット
さぼちゃん

平成21年度 白山砂防 女性特派員

平成21年度の白山砂防女性特派員活動が始まりました！

4月28日(火)には富山県の立山カルデラ砂防博物館と本宮砂防堰堤を見学、砂防に対する理解を深めました。

6月8日(月)には土砂災害防止月間広報キャラバン隊に参加し、金沢市内で街頭広報活動を行うほか、キャラバン隊長2名が手取川流域の各行政機関を訪問して防災広報の協力を呼び掛けます。



富山県・常願寺川の本宮砂防堰堤を見学



立山カルデラ砂防博物館で解説を聞く

◆ 石川県の土砂災害防止月間 行事予定 ~6月は土砂災害防止月間です~ ◆



キャラバン隊による街頭広報



くらしを守る砂防展

※写真は昨年のものです

● くらしを守る砂防展 ~みんなで防ごう！土砂災害~

小中学生から募集した土砂災害の防止に関するポスター及び作文を展示します。

6月14日(日)~20日(土) JR金沢駅ステーションギャラリー
※輪島市文化会館、道の駅しらやまさん(能美市)でも展示を予定しています。

● 土砂災害防止パトロール

土砂災害の恐れがある危険箇所を関係機関が合同で点検します。

◆ 河川水難事故防止週間のお知らせ ◆

今年より、7月の河川愛護月間と連携して新たに「河川水難事故防止週間」が始まります。

この週間は昨年多発した集中豪雨や局所的大雨による河川の急激な増水が原因の事故を受けて、国土交通省が制定したもので、7月1日から7日までの一週間となります。

夏休みもせまり、河川で遊ぶ機会も多くなります。天気や川の水の状態をよく確認して、安全で楽しい川遊びを心がけましょう。

川の防災情報

上流の大雨による
急な増水に備えるために



<http://i.river.go.jp/> (携帯版)

<http://www.river.go.jp/> (WEB版)

各地のレーダー雨量やリアルタイム雨量、
河川の水位などが確認できます。

国土交通省河川局提供

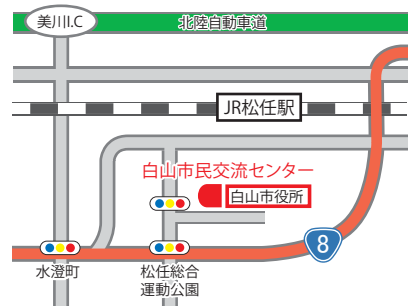
◆ 災害とボランティア活動 講演会 ~能登半島地震…その体験を語る~ ◆

日時：平成21年7月11日(土) 13:30~15:30 入場無料

会場：白山市民交流センター 4階研修室A・B
(石川県白山市倉光2丁目1番地 白山市役所本庁舎 隣接)

講師に能登半島地震を体験され、輪島市山岸町仮設住宅で区長をされていた藤本幸雄氏を迎え『学んだ教訓・感謝を胸に』を演題に講演会が開催されます。

主催：NPO石川県災害ボランティアネットワーク 共催：NPO白山麓地域安全ネットワーク
問い合わせ先 076-261-9612 (担当・宮崎)



◆ 白山砂防科学館企画展示のお知らせ ◆



昭和9年の手取川大水害(北陸本線鉄橋付近)

白山砂防科学館では6月の土砂災害防止月間にあわせて平成20年に日本各地を襲った土砂災害について、パネルでくわしく紹介します。

また7月から8月にかけて、昭和9年の手取川大水害から75周年にちなみ、当時の災害記録や写真などのパネル展示を予定しております。夏休みを利用しての来館をお待ちしております。

◆ 編集後記 ◆

平成20年1月に発行した15号から約1年半ぶりの発行となった16号では、昨年日本列島を襲った豪雨災害を振り返ってみました。記事を作成しながら、改めて土砂災害の恐ろしさを認識するとともに、日頃の備え、特に地域住民一人一人が防災意識を高く持つことが、災害から身を守るのに一番重要であると感じました。

◆ 編集・発行 ◆

白山砂防科学館

入館無料 休館日：毎週木曜日

920-2501 石川県白山市白峰ヶ40-1
TEL 076-259-2990 FAX 076-259-2991
Eメール hakusan-j@po3.nsknet.or.jp